

わたしたちと水

薩摩川内市立祁答院中学校 二年 若^{わか}杉^{すぎ} 里^り紗^さ

「ただいま。あー、のど乾いた。」

わたしはそう言って、自分の部屋にかばんを置くと、バタバタと走って台所に行った。きゅっ、と蛇口をひねり、コップいっぱい水を注ぎ、ごきゅっごきゅっと一気に飲みほした。

「ぶはあ、おいしい。」

わたしたちの住む祁答院町の家庭で使われる水道水は、そのほとんどが地下水でまかなわれており、水道水は、皆あたり前に飲む。

しかし、先日、大阪にあるいとこの家へ遊びに行ったときのことだった。いとこの家の台所には、なにやらタンクのようなものが置かれていた。わたしは不思議に思い、おばに「これは何？」

と聞いてみた。するとおばは、

「これは浄水器だよ。水道水は、ここを通してから使うのよ。」

わたしは最初、意味が分からなかった。なぜそんなことをする必要があるのでだろうと疑問に思った。別にそんなことしなくたって、水道水は飲めるだろう。しかしおばは、
「ここらへんはね。引いてくる川に、いろいろな生活排水が混ざっているから、浄水しなきゃ水は飲めないのよ。」
と言った。おばも祁答院が実家なので、初めは驚いたそうだ。わたしはそのとき初めて、わたしが住む地域が、環境に恵まれていることについて考えた。

家に帰り、その事を母に話すと

「そうよ。祁答院の水は、とてもきれいなもの。わたしたちはとても恵まれているの。だからこそ、感謝して水を大事に使わなくちゃね。」
と言った。母に言われてわたしは、はっとした。今まで、蛇口をひねれば、きれいな水が出るのがあたりまえと思って、水を無駄にはしていなかったか。水を汚すようなことはしていなかったか。わたしは、今までを振り返

り、改善すべき点がいくつか見つかった。

一つは、水の無駄使いについてである。わたしは、歯を磨くときや食器を洗うとき、水を出しっぱなしにしがちである。こまめに水を止めたり、貯めて使ったりすれば、簡単に使う水を減らすことができる。

もう一つは、汚れの落とし方についてだ。うちでは、よくハンバーグやから揚げなど、油よごれのである料理が出る。そんなとき、わたしはいつも、そのまま洗剤で洗っていた。しかしそのままでは、油の汚れは落ちにくく、水も洗剤も大量に使ってしまい、とても環境に悪い。そこで、油などの汚れなどはそのままにせず、キッチンペーパーで拭き取ってから洗うことによつて、使う水の量がとても少なくてすむ。こういった小さな工夫を積み重ね、ちよつと気をつければ、水を大切に使うことができるのである。

世界中には、きれいな水がなく、泥水を飲んで生活している人もいる。しかし、蛇口を

ひねれば簡単に水が手に入るわたしたちは、
水の大切さを忘れがちである。これから先、
温暖化が進み、わたしたちの周りでも、水不
足が起こるかもしれない。わたしたちは、環
境に恵まれているからこそ、常日頃から水を
大切にしているから、水があることに感謝する心
を持ち、意識して行動しなければならぬ。
明日の、その先の未来の水を守っていくため
に。